

高取城跡(入間郡越生町)

たかとりじょうあと

築城年代:鎌倉時代、築城者:越生氏

越生氏館跡とされる越生神社の裏手にある高取山へのハイキングコース(左手)へ進もう



ここに入って行く



入ってすぐに分かれ道があり、高取城跡へは右手の越生神社奥宮への道に行く





初めはなだらかな小路が続く





ここからは九十九折の道となる



上の方に鳥居が見えてきた



階段の手前に標柱が立っている



「高取城跡」とある/高取城は高取山城とも越生要害山城とも呼ばれる





ここは越生神社奥宮で、ここそが高取城の主郭である



この高取城は越生氏館の「詰城」としての役割を担っていたという



高まりがあり、塚とも薮(しとみ)土塁の名残りだともいうが



主郭から西方向を見下ろすと平場が見えるが、これが二の郭



二の郭へ下りて主郭を見上げる



二の郭の東方向を見たところ



二の郭は直角に折れており、これは北方向を見たところ



二の郭の北の端で主郭を見上げたところ



その地点で斜面を見下ろすと豎堀のような溝が斜面を下り落ちている



こんな按配



さて、これは二の郭の一段下にある平場(三の郭)から主郭を見上げたところ



これはその三の郭から南方向の斜面下を見たところ



そこへ下りて西方向を見たところ/これは横堀で左手に土塁が築かれている/これより先の西方向は大高取山への尾根伝いとなっており、郭の配置も西を意識して構築されているのだという



その横堀を西側から東方向へ見たところ/土塁は右手になる



アップで見たところ/右手の土塁の高さも感じられる



さて、帰路に就くこととする



九十九折の道を下って行く





最後はなだらかな道を下る



さて、ここは高取山を下りたところにある越生神社で越生氏館跡とされる



越生神社と高取山

越生町越生

越生神社は明治四十二年（一九〇九）に、神社合祀令を受けて、琴平神社に、旧越生村村社八幡神社、日吉神社、八坂神社、旧黒岩村村社の八坂神社、ほか市街地に点在していた稲荷社を合祀して造営された神社である。

七月下旬に催される「越生まつり」は、牛頭天王を祀る八坂神社の祭典、祇園祭（天王様）の系譜を引いている。神社を出立した神輿が町内を渡御し、夕刻から曳行される六台山車の上では、神田囃子の流れを汲む囃子の競演が繰り広げられ、華やかな江戸天下祭の名残を今に伝えている。

越生神社の奥宮がある高取山には中世の山城跡がある。標高約百七十mの頂上が平らに削られ、空堀と土塁で画された郭（曲輪）が数段残されている。江戸時代の地誌『新編武蔵風土記稿』には「越生四郎左衛門屋敷跡」と記されている。越生四郎左衛門は『太平記』に登場する、南朝の北畠顕家を討ち取った武将である。越生神社下方の平地地付近と推定されている越生氏館背後の高取山に築かれた「物見砦」や「詰城」であった可能性がある。一方、現存する遺構は室町期後半から戦国期のものであり、太田道真・道灌父子と長尾景春の戦いを中心とした時期のものとみる見解もある。

平成二十五年三月

越生町教育委員会

また、これは遠景から高取山方向を見たところ/中央やや左前方の木々の中に越生神社(越生氏館跡)があり、その背後の山が高取山となっている/右手前は越生絹会館で、この辺りも越生氏館跡のエリアとされる



ここが越生絹会館



これは別の角度から見た高取山(正面中央)



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/146takatori/takatori.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/ogosemati.htm>

<http://www.geocities.jp/buntoyou/f11e-gs/st-f2430takatoriyama.html>

<http://outdoor.geocities.jp/kojyo annai/3 kanto/9 saitama/takatori shiro.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/4323746>

<http://blogs.yahoo.co.jp/aganohito/32573861.html>

http://gi001.gokenin.com/tanbou/11_saitama/02_iruma/012_ogose/ogose.html

<http://www.water.sannet.ne.jp/u-takuo/takatoriyamazvo.htm>

